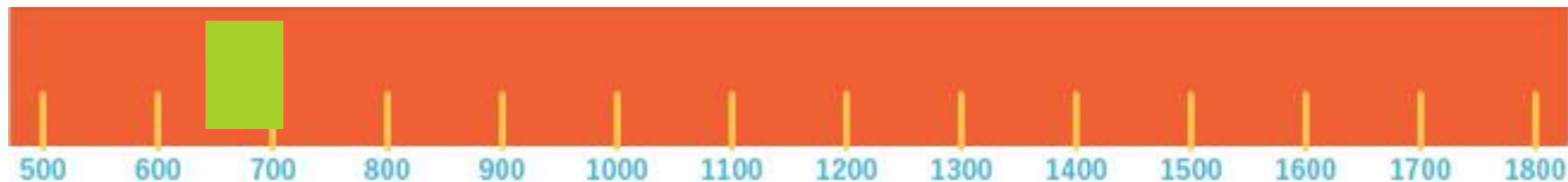


第Ⅰ部 原始・古代
第2章 律令国家の形成
2 律令国家への道 1

教科書 P.38～41

今回の学習範囲

1. 大化改新
2. 白村江の敗戦と壬申の乱
3. 天武・持統朝の政治と文化



1 蘇我氏の専横と乙巳の変→ 蘇我蝦夷・入鹿父子の専横に対し、(ア645)年に中大兄皇子は(イ中臣鎌足)らとともに蘇我本宗家を滅ぼした(乙巳の変)。



中大兄皇子・中臣鎌足は、640年帰国した南淵請安・旻から、唐の律令制など最新世界情勢を学ぶ。



				〈広島市蔵〉	
日本		アジア		中国	朝鮮
604	麻戸王(聖徳太子), 憲法 十七条制定 ➡ p.47	612	隋, 高句麗に遠征(～14)	隋	高句麗

藤原（中臣）鎌足 を祀る談山神社



この山の上で、中大兄と鎌足はひそかに計画を練った…



中大兄并中臣連見古麻呂等恐入鹿感流行不進咄嗟即率彼等俱拔鉞傷
割入鹿肩入鹿驚起古麻呂運手揮鉞斬其一脚入鹿轉就御座叩頭奏云臣不
知罪乞垂審察天皇大驚詔云何事如此耶中大兄伏地奏云鉞作畫歲太宗將傾
皇位宣以天孫代執作平意指教山背大兄王等也天皇起入火殿手開殿戶遂以古麻
呂等令誅入鹿一說云中臣連以大刀打落入鹿肩次中大兄以鉞打落其首云飛高御
座戶云一說云入鹿首飛昨付御簾云一說云首飛嚼石柱躍揚四十遍一說云入鹿起走
中大兄與鉞一連日合兵立遂斬入鹿流血教外彼斬卧之冠惣目動身鉞一連斬放
入鹿首其首躍騰教度矣于時中臣連并昨一斯特宮中震動皆歌萬歲

十七

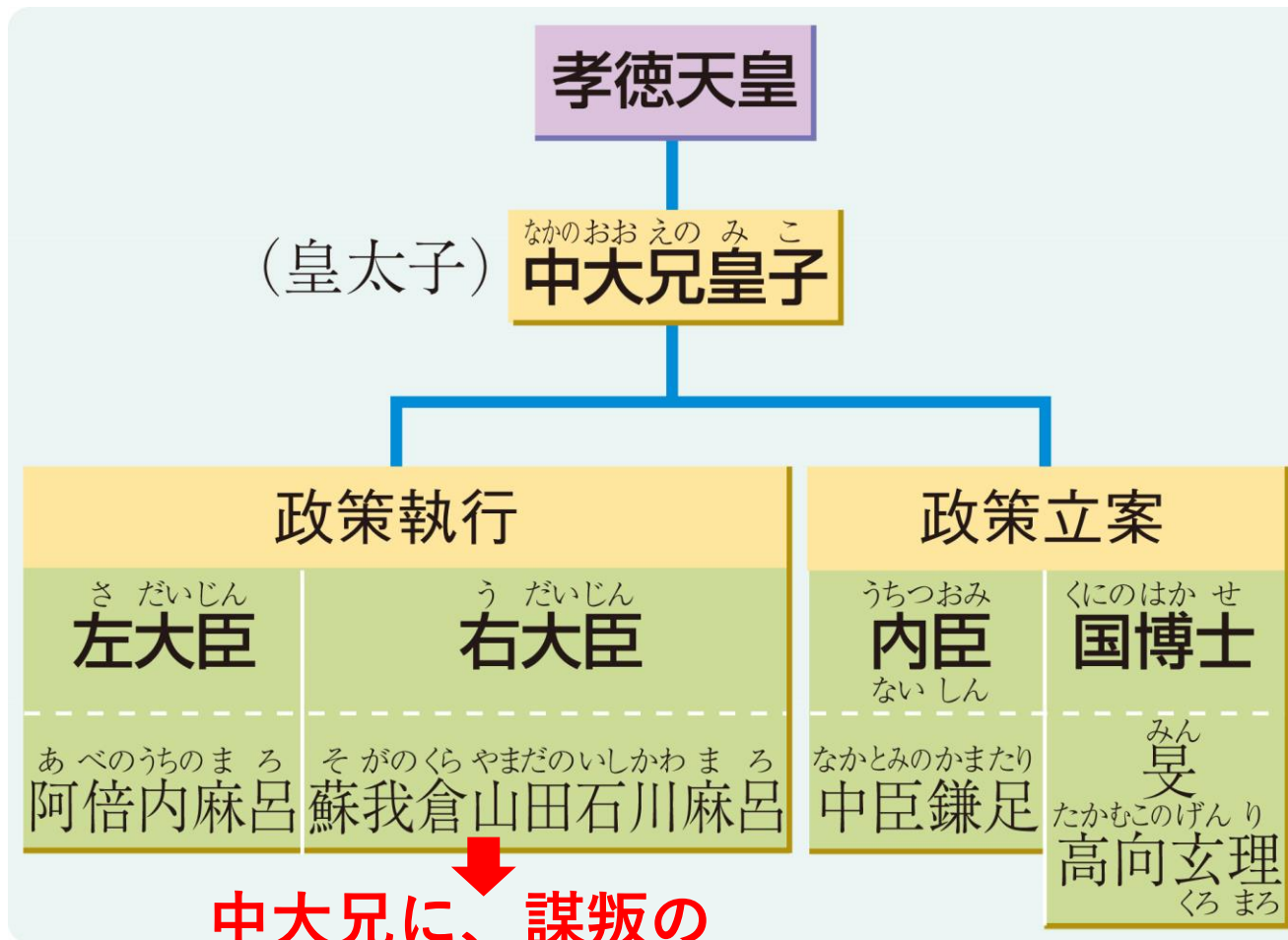
是日雨降露水滴
庭以席障于地入
鹿飛時人以爲感
天誅遂

十八

豐浦大臣蝦夷凶賊未平中大
兄即入法興寺據城二鄉大夫悉
皆隨焉于時使人賜入鹿屍於
大臣蝦夷於是賊黨皆云吾
君太師已被誅戮大臣悉立侯
其誅使矣然則爲誰乎戰直
被刑于言畢解鉞投弓賊遂散



2 大化改新のはじまり → (ウ **孝徳天皇**) が即位して
新政権が成立し、大王宮は飛鳥から(エ **難波**)に移され、初めて「大化」の年号が立てられた。



**中大兄に、謀叛の
疑いで滅ぼされる**

新政府の中枢



大化改新の詔

其の一に曰く、「昔在の天皇等の立てたまへる子代の民、
処々の屯倉、及び、別には臣・連・伴造・国造・村
首の所有る部曲の民、処々の田莊を罷めよ。仍りて
食封を大夫より以上に賜ふこと、各差あらむ。」
其の二に曰く、「初めて京師を修め、畿内・国司・郡司・
関塞・斥候・防人・駅馬・伝馬を置き、及び鈴契
を造り、山河を定めよ。」
其の三に曰く、「初めて戸籍・計帳・班田収授の法を造れ。」
其の四に曰く、「旧の賦役を罷めて、田の調を行へ。……
別に戸別の調を収れ。」
(『日本書紀』、原漢文)

①②③ 三三ページ参照。④ おのおのの地位に応じて給付する。⑤ 畿内
国の司と読む説もある。⑥ 関所。⑦ 北辺の監視要員。⑧ 公的な伝達・輸
送に用いられる馬。⑨ 駅鈴と木契。ともに駅馬・伝馬を利用する際の
証明とした。⑩ 地方の境界を定める。⑪ 一定基準で田地に賦課する税。

3 「改新の詔」→

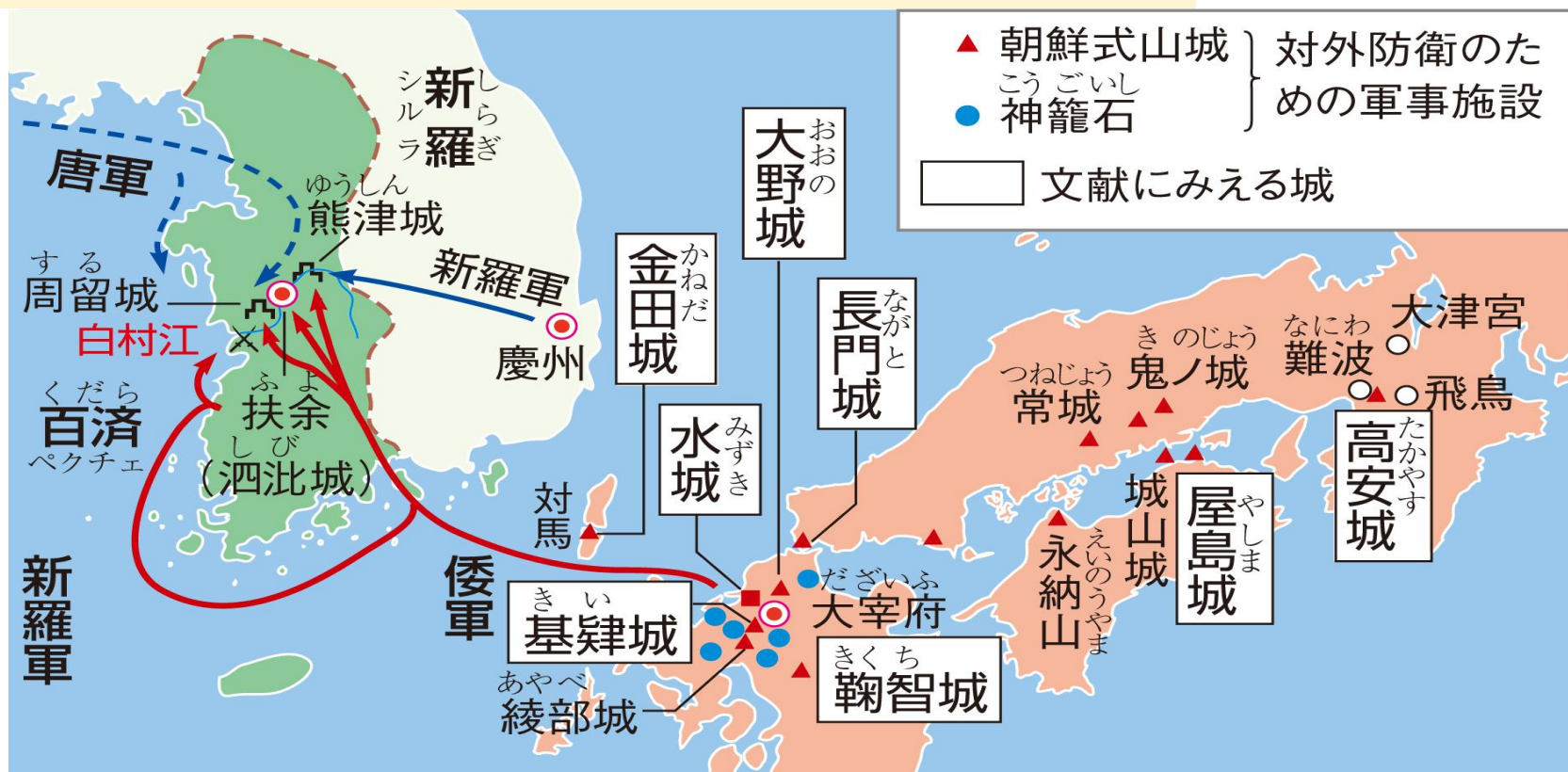
(才646)年正月、孝徳天皇は改新の
基本政策を示した「力改新の詔」を出
した。孝徳天皇の諸改革は、大化改新
といわれる。

1 白村江の戦い→ 唐と新羅に滅ぼされた(キ百済)の復興のため、(ク齊明天皇)(皇極天皇の重祚)のもとで倭は朝鮮半島に大軍を派遣したが大敗した。

663年：白村江の戦い→倭軍は唐・新羅連合軍に大敗

668年：唐・新羅の連合軍が高句麗を滅ぼす

676年：新羅が朝鮮半島を統一



2 天智天皇の即位→(ケ)の敗戦後、中大兄皇子は防衛を強化するとともに、即位して(コ)となり、律令国家をめざした改革をおこなった。

《戦後処理》

【防衛の強化】

- ①対馬・壱岐・筑紫に**防人**と**烽**
- ②九州要地に**水城**や**大野城**・**基肄城**
- ③対馬から大和にかけて**朝鮮式山城**
- ④667年：**近江大津宮**に遷都

《律令国家の建設》

- 668年：中大兄皇子が即位(**天智天皇**)
- 668年：**近江令**を制定？
- 670年：**庚午年籍(最初の戸籍)**を作成

⑨ **水城** (復元想像図)
(イラスト 香川元太郎氏)



⑩ **水城の設置** 白村江の戦い後、唐・新羅の攻撃に備え、大宰府を守るために土塁を構築した。

3 壬申の乱→ 天智天皇が亡くなると、翌(サ**672**)年に(シ**大友皇子**)と(ス**大海人皇子**)とが皇位継承をめぐって戦った。

【大友皇子(弘文天皇)】

- ・ 天智天皇の子
- ・ 近江朝廷を率いる
- ・ 有力**ヤマト豪族**が支持

VS

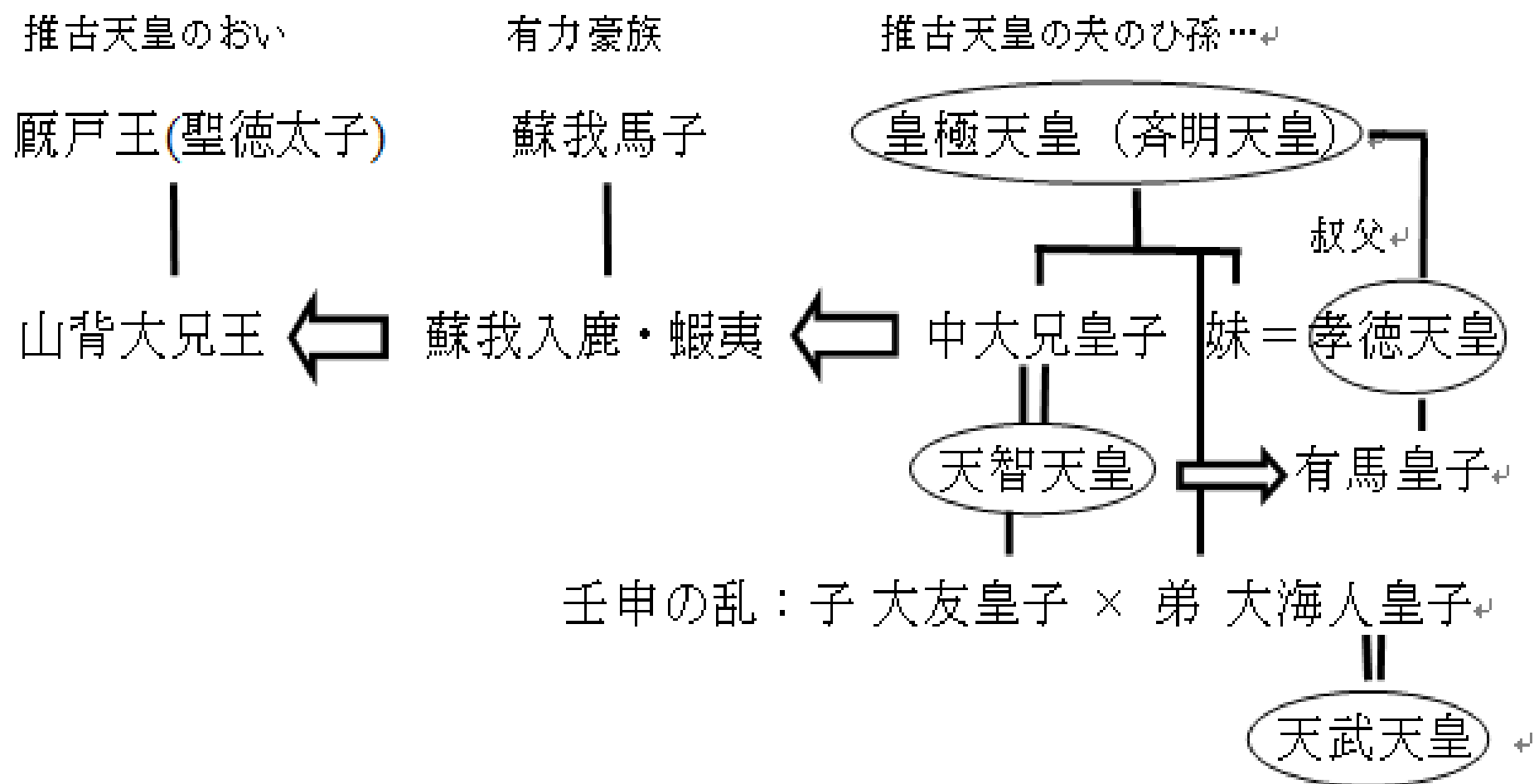
【大海人皇子】

- ・ 天智天皇の弟
- ・ 拠点：吉野→美濃
- ・ **東国豪族**の軍事動員に成功

近江支持派の
豪族の領地を没収

大海人皇子が勝利し、
飛鳥浄御原宮で即位。
(**天武天皇**)

4. 7世紀の国内政治を整理して、図に書き込もう。



1 天武・持統天皇の律令国家形成→(セ天武天皇)を中心に中央集権的律令国家形成が進み、(ソ持統天皇)(天武天皇の皇后)が引き継いだ。

天武天皇の政策

- ①豪族領有民の再禁止⇒公地公民制の実現
- ②**八色の姓**の制定
(真人・朝臣・宿禰・忌寸・道師・臣・連・稻置)
⇒豪族を天皇を中心とした新しい身分秩序に編成
- ③**富本銭**の鑄造(日本最古の貨幣)
- ④**飛鳥浄御原令**の編纂開始 →
- ⑤国史の編纂開始
(のち『**古事記**』『**日本書紀**』として完成)
- ⑥**藤原京**の造営開始 →

持統天皇の政策

- ①**飛鳥浄御原令**を施行(689年)
- ②**庚寅年籍(戸籍)**を作成(690年)
- ③**藤原京**に遷都(694年)

※この頃、大王にかわって「**天皇**」の**称号**が用いられ始めたという(推古朝説あり)。

2 藤原京→ 大和三山(畝傍山・耳成山・天香具山)
にかこまれた地に、日本初の本格的都城である
(タ**藤原京**)(5.3km四方)が造営された。



藤原京



平城京

3 白鳳文化→ 7世紀後半から8世紀初頭にかけて、
律令国家が形成される時期の生氣ある**若々しい仏教文化**が花開いた。**資料集p 57-p 60**

薬師寺東塔

時期	7世紀後半～8世紀初頭
建築	薬師寺東塔(裳階付きの三重塔)
彫刻	法隆寺阿弥陀三尊像<金銅像> 〃 夢違観音像<金銅像> 興福寺仏頭<金銅像>(もと山田寺本尊) 薬師寺金堂薬師三尊像<金銅像>
絵画	法隆寺金堂壁画(インドや西域の影響) 高松塚古墳壁画(中国や朝鮮半島の影響)

まとめと振り返り

1. 大化改新

国際的緊張の中で中大兄皇子らは蘇我蝦夷・入鹿を滅ぼし、孝徳天皇のもとで大化改新と呼ばれる政治改革をおこない、中央集権化が進められた。

2. 白村江の敗戦と壬申の乱

百済復興を支援したが、白村江の戦いで唐・新羅連合軍に大敗した。天智天皇の死後、皇位継承をめぐる壬申の乱がおこり、大海人皇子が勝利して即位した(天武天皇)。

3. 天武・持統朝の政治と文化

天武・持統天皇により律令国家の建設が進められ、飛鳥から藤原京に遷都した。またこの時代、生氣ある若々しい白鳳文化が花開いた。